

2022年11月30日

中央日本土地建物グループ株式会社

## 理事会クラウド「リモ・アーボ (remo-EarVo)」 分譲マンション「BAUS (バウス)」に導入

～管理組合の理事会にスマートフォンなどから参加が可能～

中央日本土地建物グループ株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 三宅潔）は、グループ会社の中央日土地レジデンシャルサービス株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 初澤剛）が管理を受託する分譲マンション「BAUS (バウス)」の管理組合支援サービスとして、理事会クラウド「リモ・アーボ (remo-EarVo)」を導入することとなりましたので、お知らせします。

「リモ・アーボ」は、マンション管理組合の理事会を、一定の「期間」を設けて Web 上で開催するプラットフォームです。通常は特定の日時を定めて開催される理事会を、本サービス内の「専用ルーム」で一定期間をかけて開催することで、参加者はスマートフォンやパソコンなどから任意のタイミングで手軽に参加できます。本サービスには、グループチャット機能や、オンライン投票機能、議事録の自動生成機能など、Web 上での理事会のスムーズな進行をサポートする各種機能を備えているほか、「BAUS」入居者専用アプリ「BAUS Concierge (バウスコンシェル)」との併用により、議事録や決定事項をペーパーレスで配信・確認することが可能です。

本サービスは、「バウス西大島」(2022年9月入居開始)、「バウス上中里」(2022年10月入居開始)を皮切りに、今後開発する「BAUS」シリーズの分譲マンションに順次導入していく予定です。

当社グループは、DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進により、高品質かつ先進的な商品・サービスの提供と、ペーパーレス化などによる環境負荷の低減を図り、BAUS が掲げるブランドスローガン「感動が育つ住まい。」のさらなる発展に向けて、引き続き取り組んでいきます。

**BAUS**

×

**remo EarVo**

※理事会クラウド「リモ・アーボ」は株式会社ラージヒルの提供サービスです。  
「リモ・アーボ」remo-EarVo) は株式会社ラージヒルの登録商標です。



## ◆ 「リモ・アーボ」を利用した理事会の流れ

### 1. 「専用ルーム」を作成

主催者は理事会用の「専用ルーム」を作成し、会議のタイトル、開催期間、参加人数を設定します。議題と説明文を入力し、設定が完了後、参加者に開催を通知します。

### 2. 理事会に参加

通知を受け取った参加者は、開催期間中に「専用ルーム」へアクセスし、議題を確認します。必要に応じてグループチャット機能を使用し、質問や意見交換、投票をします。

### 3. 議事録の作成

理事会の開催期間終了後に、議事録がPDFやMicrosoft Word形式で自動生成されます。



議事録 (イメージ)

## ◆ 「リモ・アーボ」導入による効果

### 1. 時間や場所を気にせずに開催、参加が可能

主催者はWeb上での「専用ルーム」の作成と、開催期間、参加人数などの設定のみで、簡単に理事会を開催することができます。参加者は開催期間中、通勤中や遠隔地などからも、Web上で質問や投票などが可能です。時間や場所に縛られず参加ができ、リアルタイムで実施するテレビ会議に比べて通信環境によるトラブルが起きにくいため、理事会参加に対する抵抗感が薄まり、幅広い世代の積極的な参加につながります。

### 2. 議事録自動生成機能による、負担の削減

「専用ルーム」での協議内容が自動的に議事録として生成され、PDFやMicrosoft Wordファイルなどで出力可能なため、議事録を作成する手間や時間が省略されます。Microsoft Wordファイルで生成された議事録は、参加者への配信前に編集することが可能です。

### 3. 入居者向けアプリとの併用による、利便性向上と管理業務効率化および環境負荷の低減

生成された議事録は、「BAUS」入居者専用アプリ「BAUS Concierge (バウスコンシェル)」内の「管理組合デジタルライブラリ」に保存でき、いつでも閲覧が可能です。また、理事会での決定事項は「BAUS Concierge」内の「ご入居者様へのお知らせ」機能を通じて、ご入居者様に通知されます。ご入居者様の利便性向上のほか、マンションの管理人は掲示板への掲示や書面の投函などの作業が不要となるため、管理業務の効率化や、ペーパーレス化による環境負荷の低減につながります。

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 (向田・平山)

Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940